

グリーティング

- * 寒い朝 ゴジラの気分で 息を出す
- * 冬の風 ぼくを押してる ぼくも押す
- * 水仙を見るたび背筋 伸ばす朝

ふと目に止まった小中学生の俳句です。どの句も可愛らしさと元気があふれていて、寒さで縮んでいた気持ちがファ～となりました。 S.K



技工情報

～より良い総義歯製作をめざして～ かたち編パートII

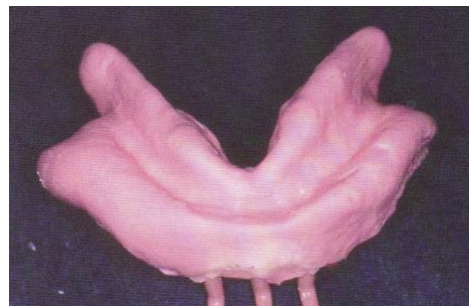
前回Vol43号は、総義歯製作の基準となる構成要素、デンチャースペースについてまとめました。今回はデンチャースペースの中に収める「総義歯らしい か・た・ち」について着目してみたいと思います。

「総義歯らしい か・た・ち」とは？



上顎

- ・左右対象である
- ・上顎結節が抱え込まれている
- ・床縁は適度な丸みをもっている
- ・床縁は粘膜の折り返し地点までいっている。
- ・ハミュラーノッチが採られている



下顎

- ・左右対象である
- ・レトロモラーパットが採られている
- ・頬棚、舌側床縁の骨面が採られている
- ・床縁は顎舌骨筋線より下方である。
- ・床縁はやわらかい粘膜でおわっている。

「辺縁の か・た・ち」とは？

- ・辺縁は粘膜の折り返し地点までいっていること
- ・辺縁は粘膜のやわらかいところで終わっていること
- ・辺縁は丸みを帯びていること

※シリコン印象材にて適切な辺縁の筋形成が行われている場合に有効であるが顎堤の吸収が激しい症例においても辺縁形態の考え方は同様である。



編集後記：「俳句とは何か」という、本質的問いに俳句評論家の山本健吉はエッセイのなかで「俳句は滑稽なり 俳句は挨拶なり 俳句は即興なり」と答えています。奥が深いですね。 46号ご披見ありがとうございました。 編集人：M.S